

在来線の存廃問題、積極的に合意形成を

町長 対策協議会の場において、議論を進めることを働きかけている

新幹線延伸に伴う課題

作井

町長が積極的に長万部く小樽間の合意形成を図るべき。

町長

対策協議会の場において、早期に存廃についての議論を進めることを働きかけている。

作井

選択肢はあるが現実的な判断は見えてくる、もっと早い段階での判断を。

町長

早く方向性を出すように取り進めたい。

作井

道道に架かる跨線橋問題、撤去時期など協議の進捗状況を。

町長

2025年度には撤去を終えたい。撤去工事は2年程度の見込で、23年度前後から道道が通行止めに二ツ森トンネルは21年度羊蹄トンネルも23年度までの工期、残土運搬は終了している。

作井

北海道からの派遣職員、引き続き技術職員の派遣を要請すべき。

町長

技術的支援を受けられるよう要望している。



道道俱知安二セコ線 跨線橋

G20開催に伴う課題

作井

前倒しすべき事業

- ①ひらふ第1駐車場と交通ターミナルの整備。
- ②消防はしご車の導入と消防職員の増員。

町長

①2026札幌冬季オリ・パラ開催前に完了するよう進めたい。

- ②G20開催に関わらず、

構成町村と議論したい。

作井

①課題は交通ターミナルの位置、第1駐車場かサンスポ、はっきり明言しないと前に進まない。

②間に合わないのなら、小樽市へ協力要請なども。

町長

①もう少し整理し、近々方向性を示したい。

②協力要請も一つの手法。

作井

①方向性を示さなければ、今定例会に付された議案すら判断できない。

町長

①もう少し時間が必要。

作井

先送りすべき事業

- ①役場庁舎の建替え。
- ②小学校の統廃合。

町長

①国からの財政支援を活用し、庁舎建替えを進めたい。

②これまでどおり検討を進めてもらいたい。

作井

①全国的な庁舎建替え、期限は2020年、東京オリ・パラ、待機児童32万人分の受け皿整備とも重なり、建築業界はどんな状況になるのか。先般、6億円の予定価格で約1億円の開きがあった、仮に24億円なら4億円開きができる。交付税措置は4億円程度、本町の持ち出しは変わらないのでは。

町長

①交付金事業とすることが望ましい。

作井

絶対的なマンパワー不足は間違いない。開催期間の応援のみならず、新年度から専属の新たな職員の

派遣を北海道に要請すべき。

町長

現職員体制では、非常に厳しい。人材派遣について北海道に要請したい。



会議場のある海外のリゾート地



作井 繁樹 議員

一般質問 作井 繁樹